



医療のIT化政策

副会長 長瀬 清

平成13年3月誕生した小泉内閣は、日本経済の立ち直りをかけて、懸案の構造改革を強力に押し進めることを宣言、直ちに実行に移した。

6月総合規制改革会議が「中間とりまとめ」を、経済財政諮問会議が「基本方針」を提案した(表1 医療のIT関連分野)

これをうけて厚生労働省は平成14年度予算概算要求を行った。表2にその中のIT関連事項をピックアップして示した。これらはこれからの医療の方向性を示しており、われわれは看過することができない。

森内閣および小泉内閣の電子立国としての国家プロジェクト(政府IT戦略本部・自民党のe Japan重点計画特命委員会)は、医療においても確実にIT化を進めている。

医療界は他の社会に比較しIT化が遅れていると言われているが、IT化の波は着実に押し寄せている。

現在提案されているIT化政策を項目ごとに考えてみたい。

1 電子カルテ

平成11年4月22日厚生省健政局長、医業安全局長、保険局長連名の通知「診療録等の電子媒体に

よる保存について」が出されて以来、電子カルテを採用する医療機関が徐々に増している。

厚生労働省も電子カルテシステム導入促進を図り、用語・コード・様式等の標準化を平成15年完成を目処に進めている。複数の医療機関が電子カルテで患者の診療情報を共有、医療の無駄を省くことを目的としている。

電子カルテはペーパーレス化、院内業務の効率化、医療機関相互の診療情報交換、遠隔地医療支援等多くのメリットがあるが、一方では医者が器械と向かいあい、患者との対面が少なくなり非人間的医療となることが懸念されている。またデータ等の秘密保持についても考慮されなければならない。

2 レセプト電算システム

レセプト作成の電子化は既に多くの医療機関(病院の約95%、診療所の約67%)で行われているが、磁気媒体提出による医療機関はまだ少なくほとんどが紙様式である。伝送方式はまだ全く導入されていない。審査の画一化や事務処理の効率化を目的として、磁気媒体提出が強く求められているが、ゆくゆくは伝送方式となるであろう。現在傷病名マスターの見直し、画面審査施行、大病院等への参加勧誘、参加医療機関の個別指定の廃止検討等がなされている。

表1 総合規制改革会議「中間とりまとめ」と経済財政諮問会議「基本方針」

IT関連施策
1 請求支払
IT化の促進、電子カルテ、電子レセプト
2 医療提供体制(含医療情報)
EBMの推進による医療サービスの標準化
医療・医療機関に関する情報開示
医療情報のデータベース化・ネットワーク化
複数の医療機関による患者情報(カルテなど)の共有・有効活用の促進

表2 厚生労働省平成14年度概算要求

医療供給体制
IT化による医療提供体制の整備
1 EBMの推進
2 電子カルテ等を用いた保健医療情報システムの整備
3 地域医療を充実させるための遠隔医療の実施
4 レセプトのオンライン請求等の試験事業の実施

レセプトの電子請求医療機関の増加により、医療機関の事務手数を省く意味から、いわゆる処方箋の205円ルールがとられていたが、次回の診療報酬改定で廃止となる可能性がある。このためにレセプトの電子化を強いられる医療機関も出、問題である。

日医も「進化型オンラインレセプトコンピュータシステム(ORCA)」のプロジェクトを開始した。IT化の経費節減を図ることを目標としている。

3 EBMによる医療の標準化

日本の医療は個々の医師の判断で、十分に検証されずに遂行されており、医療資源の無駄を生じているとして、EBMの導入を求められている。質の高い最新医学情報をデータベース化し、EBMに基づく診療を行う。医療の質の均一化、質の向上、効率化を進めるとするものである。患者も含めたデータベースの共有化により、これまでの医師と患者の情報の非対称性を解消し、医療の均一化、質の向上により安心感が得られる。ま

た遠隔地においても都会と均一の質の高い医療受給が期待される。

4 オーダリングシステム

これは1980年代に始まり、現在では大学病院では100%、大病院はもちろん、中小病院でも多く採用されてきている。検査データ、検査指示、処方箋発行、会計データをコンピュータに蓄積し、医療業務を効率化している。ハードディスクが大容量化され、また安価になったためCT、MRI等の画像データも蓄積されるようになった。

通信、交通の発達からあらゆる社会においてグローバル化が進み、医療においても例外ではなくなった。医師も患者もあらゆる人がインターネットを通じて最新の情報を取得でき、独りよがりの医療では今や他人を納得させられない時代になった。

しかし、これらのIT化施策が医療費削減を目的としているのであれば、医療担当者として本来の道を間違えないように進めることがわれわれに課せられた責務である。